

日本学生支援機構奨学金

春期募集 新規申込説明会

【対象者】

- ・2年生～4年生
- ・編入学生



【この説明会の対象者】

- 2026年4月から、
 - ①新規で奨学金の申込をしたい
 - ②すでに奨学金を受けているが、追加で申込をしたい2年生～4年生・編入学生が対象です

※留学生の方は対象外です。「国際交流係」へお問合せください※

【編入生の方】

- 編入学前の学校で「**給付奨学金**」「**第二種奨学金**」を受けており、
適格認定(学業)で「**廃止**」と判定されていない方は、新規申込ではなく、
手続きが簡単な継続の手続きをすることができます。

継続のみ希望

- 至急、「本館1階 学生課 奨学金3番窓口」
へお越しく下さい

継続以外

- 継続の手続きが出来ない
「**第一種奨学金**」の申込希望
- 編入学前に受けていた奨学金以外
の奨学金を**新規**で申込希望
この説明会に**参加**してください

【説明会の内容】

1 奨学金申請方法・スケジュールについて

2 奨学金の概要

- ・給付奨学金・貸与奨学金1種・2種概要
- ・保証制度について

3 補足事項

奨学金申請方法と スケジュールについて

【申請書類提出期限】

①スカラネット
入力

➤➤➤ 2026年4月20日 24:00まで

②奨学金確認書兼地方税同意書
郵送

➤➤➤ 2026年4月23日までに郵送

③提出用封筒の提出

➤➤➤ 2026年4月24日 17:00まで
※郵送の場合は**必着**

【①スカラネット入力】

★入力をはじめる前に

『スカラネット入力下書き用紙』を記入してください。

「間違いやすいポイント」を本日配布の【申込手順】に記載しています。

必ず確認してください。

①スカラネット入力

・入力期日を守り、スカラネット(WEB)からの入力を完了させてください。

※奨学金申請の入力後、『マイナンバー』の入力までして完了です。

奨学金
申請入力

+

マイナンバー
入力

=

スカラネット
入力完了

奨学金
申請入力

+

マイナンバー
未入力

=

~~スカラネット
入力完了していない~~

機構の審査が
進みません

【識別番号(ユーザIDとパスワード)】

ユーザID : 306040

パスワード : 58benzs6

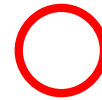
- ・配布している《申込手順》を見て、不備のないよう、期日を守って手続きしてください

【スカラネット下書き用紙】修正箇所

《6ページ目：上段》

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
	(9) あなたの正規の修業年限を記入してください 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。 (例)・4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年0か月。 ・2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年0か月。 ・5年生課程の4年次に編入学する人の修業年限は5年0か月。	年 月 日

お渡ししている「スカラネット下書き用紙」には『西暦』の記載がありますが、正しくは『西暦』の記載は不要です



年	月	日
---	---	---



西暦	年	月	日
----	---	---	---

《16ページ目：上段》

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
	◆一人親家庭 8. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。 ⑨あなたの家族情報の2.にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合のみ表示されます。「離婚等」については、単なる不仲による別居は認められません。 ○父又は母と死別した。 ○父母の離婚等により、父母いずれかとわたし(本人)は別生計である。 ※「離婚等」には、離婚調停中、DVIによる別居中、又は未婚の場合なども含まれます。 ○父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。 ○わたし(本人)が生計維持者としていない父母いずれかからDV・虐待を受け、生計維持者のもとに避難している	

お渡ししている「スカラネット下書き用紙」には『その他』として、記入してもらうようになっていますが、正しくは、赤枠の内容となります



○わたし(本人)が生計維持者としていない父母いずれかからDV・虐待を受け、生計維持者のもとに避難している



○ その他

【②奨学金確認書兼地方税同意書郵送】

②奨学金確認書兼地方税同意書
郵送

『専用封筒』を使って
『簡易書留』で郵送してください



・『**スカラネット入力完了後(1週間以内)**』、日本学生支援機構へ郵送してください。

よくある
不備内容

- ・父母いるが、「生計維持者」を一人しか記入していない
- ・同一筆跡は不備です
- ・生年月日の記入まちがい
- ・「本人確認書類」で添付した「マイナンバーカードの写し」の期限が切れていた

これ以外でも、機構が不備と判断した場合、審査がすすみません。
不備のないよう、よく確認してから郵送してください。



不備があった場合、機構から「郵送」「電話」「メール」いずれかで確認が入ります



【③提出用封筒の提出】

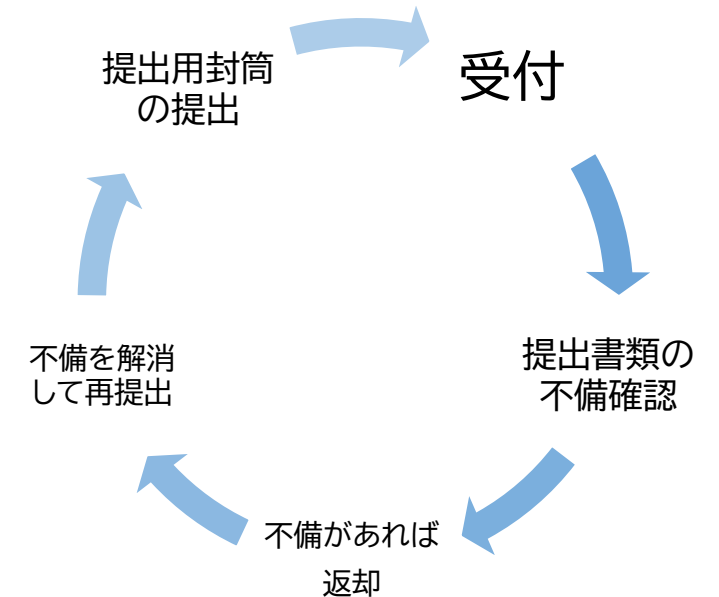
③提出用封筒の提出

『奨学金特設窓口』へ提出してください

※郵送の場合は、「提出期限」**必着**で
レターパックで郵送してください

提出期限直前は、再提出の方も多く
大変混みあいます。

余裕をもって、早めに提出してください。



【提出書類】

必要書類のみを
「提出用封筒」に入れて
提出してください

2026年度春学期 奨学金申請書類 提出用封筒 在学期間
2年生以上

提出期限：4月24日(金) 17時迄
(注)郵送の場合は、この封筒に提出書類を入れ「レターパック」で送付して下さい

学籍番号	2	氏名		受付日	
学生番号	-	保護者番号 (続柄：)	-		

*印は、お電話でかかるとが便利です。

登録の確認	✓/×
1 ポータルシステム[Portal-OSU]を登録してください。(奨学金関連のお知らせはメールで届きます。)	
2 奨学金係の電話番号を登録してください。 ☎072-875-3070 ☎072-875-3069	
3 保護者の方もポータルシステム(保護者用)、「奨学金係の電話番号」を登録してください。	
4 「給付を申請する方」前期授業料は期日までに前払済みください。採用後還付されます。	

奨学金	提出書類	✓/×
給付	① 全員提出 入力内容確認書	✓
対象者のみ	② 学修計画書(各項目200文字以上で記述) 【日本国籍以外の人、社会的養育が必要な人】 在留カード等コピー、在留資格在留証明書コピー、その他() 【第1種または併用希望で学業基準の平均点を満たさない人(家計要件あり)】 住民税所得割額が0円の世帯、生活保護受給世帯等は成績基準が緩和される(募集要項参照) 学修計画書(各項目200文字以上で記述) *同時に給付を申請する場合は不要	

大学 使用欄	奨学金	成績	確認
なし	給付(I・II・III・IV理・多子) 1種 2種	単位 1種・併用 80点以上・80点未満	済

大阪産業大学 学生生活課 奨学金窓口
問合せ時間：平日9:00～17:00
〒574-0013 大阪府大東市千早3-1-1
Mail: shogaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp

大阪産業大学
OSAKA SANDAI UNIVERSITY



全員提出

入力内容確認書

両面
記入要

入力内容確認書 全員提出

学籍番号 2 氏名

学籍番号 2 氏名

スキャンネット受付番号 30604000-204-
学籍確認書兼地方税同意書を提出した日 月 日

[1] スキャンネット入力完了後、表示された受付番号を記入して下さい。
スキャンネット受付番号 30604000-204-
学籍確認書兼地方税同意書を提出した日 月 日

[2] 現在の奨学金状況、前期授業料の支払いについてお答えください
・現在奨学金を持っていますか？ ある方は、現在(1年間は奨学期の手続き中)の奨学金を○で囲む
なし・ある → 給付・第一種(利子なし)・第二種(利子あり)
・前期授業料のお支払いについていずれかを選択。未払いは理由も選択してください。(○で囲む)
支払い済み・未払い(基幹課課長宛書、5/22迄または支払い(給付奨学生)・教務課へ連絡済み(1期))

[3] 今回希望する奨学金に印をつけ数量にお答えください

給付奨学金(理系学部減免・多子世帯減免は給付奨学金です)
・給付奨学金と第一種奨学金を同時に受ける場合、第一種奨学金が調整され異なる額もしくは減額されることがあります。(併給調整)

貸与奨学金(下表の希望欄にのみ印をつけてください)
・給付奨学金と第一種奨学金を同時に受ける場合、第一種奨学金が調整され異なる額もしくは減額されることがあります。(併給調整)

希望する奨学金	希望する奨学金
(a) 第一種奨学金のみ希望します。	(a) 第一種奨学金のみ希望します。
(b) 第二種奨学金のみ希望します。	(b) 第二種奨学金のみ希望します。
(c) 併用希望(第一種奨学金と第二種奨学金の併用)のみ希望します。	(c) 併用希望(第一種奨学金と第二種奨学金の併用)のみ希望します。

※貸与奨学金の「併用希望」とは、第一種奨学金と第二種奨学金の併用を指します。

給付奨学金を申請する方のみ

学修計画書

両面
記入要

学修計画書 給付奨学金
第一種・第二種奨学金

学籍番号 2 氏名

学籍番号 2 氏名

学部・学科・学年 専攻 専科

1. 学修の目的(将来の職業を含む。)
現在在学中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の1から3を参考にしつつ、その内容を記述して下さい。(200文字以上)
① 将来に就きたい職業(選科)があり、その職業(選科)に就くための知識の修得や習熟を目的とするため。
② 履修のある学問分野や実証的探求があり、それらに関する知識を修得し、経験を深めるため。
③ 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

※各項目
200文字以上
記述してください

2024年度 大阪産業大学 学生生活課

★提出用封筒を確認し、その他提出書類があれば同封し提出してください★

【採否の結果の連絡方法と時期】

2026年7月初旬頃予定

採用であれば、初回振込:7月10日(金)

ポータルシステムより通知します

※必ず『本人』『保護者』とも「メール通知設定」をしておいてください

《注意点》

- ①奨学金は審査があるので、必ずしも採用されるわけではありません
- ②採用の場合、不備や審査状況によっては、初回振込が8月や9月になることがあります
- ③個別に審査の進捗はお答えできません

【ポータルシステムの通知設定】

奨学金に関する大切なお知らせは、『**すべて**』ポータルシステムよりお伝えします。

本日配布の『ポータルシステムの通知設定』を見ながら、**メールの通知設定**をしてください。

学生本人 保護者 同じ内容を配信します。**必ず両方**の設定をお願いします。

ポータルシステムについてのお問合せ

【学生】 本館5階 「情報科学センター」

【保護者】 「後援会」



確認不足や連絡がとれないことで、『**採用取消**』や『**廃止**』などになっても、大学では一切責任は負いません

奨学金の概要

【春期申込可能な奨学金】

給付奨学金
<ul style="list-style-type: none">・原則返還する必要がありません・授業料等減免とセットです

成績によっては返還の可能性があります

貸与奨学金	
・卒業後に返還する必要があります	
第一種奨学金	第二種奨学金
<ul style="list-style-type: none">・利子がかからない 給付奨学金と一緒に利用する場合、基本的に振込が0円になる	<ul style="list-style-type: none">・利子がかかる 第一種の2倍の貸与額選択が可能。給付奨学金の影響は受けない

利子がかかるのは卒業後からです

【授業料等減免とは？】

- ・マイナンバーの情報をもとに日本学生支援機構が支援区分を決定します
- ・決定した支援区分に応じた金額が「**授業料**」から差し引かれます

★配布資料の『募集要項』を確認し、ご自身が必要な奨学金を申し込んでください★

給付奨学金

支援区分

給付奨学金の支援区分

世帯収入に応じて段階的に支援します。

・給付奨学金の対象か？
『進学資金シミュレータ』で確認できます
あくまで「目安」としてご利用ください



〈第Ⅰ区分〉



〈第Ⅱ区分〉



〈第Ⅲ区分〉



〈第Ⅳ区分〉

(多子世帯)

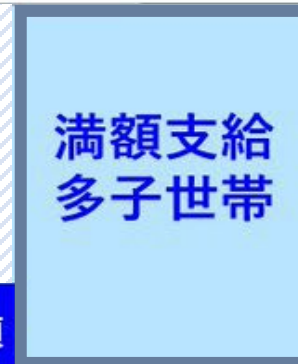
(理工農系)



※給付奨学金は0円

〈多子世帯〉

※給付奨学金は0円



月々振り込まれる
給付奨学金は0円

市区町村が決定した住民税情報等
に基づいて区分が決まります

年収の
目安

～約300
万円

～約400
万円

～約460
万円

～約700
万円

～収入制限
なし

【給付奨学金：第Ⅳ区分(理工農)】

対象学部

情報デザイン学部

建築・環境デザイン学部

システム工学部

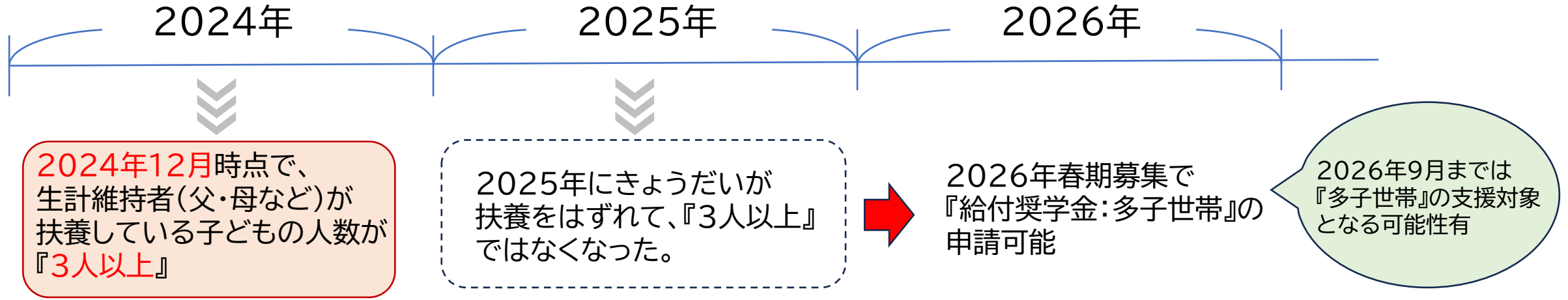
工学部

デザイン工学部

※授業料等減免のみで、月々の給付額はありませぬ。

※転部等をした場合は対象外となります

【給付奨学金：多子世帯】



★学生と生計維持者の『マイナンバー』を通じて世帯で扶養している子どもの数の情報を機構が確認します

★『2026年春期募集』においては、**2024年の情報**で審査されます

第IV区分
多子世帯

➤➤➤ 授業料等減免+月々の支給額あり

多子世帯

➤➤➤ 授業料等減免のみ

➤➤➤ 日本学生支援機構の審査により
区分がつくかが決まります

【給付奨学金：月々の給付額】

学校種別・世帯の 所得金額に基づく区分	私 立		
	自宅通学	自宅外通学	
大学・短期大学・ 専修学校（専門課程）	第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
	第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
	第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円
	第Ⅳ区分 (多子世帯に限る)	9,600円 (10,700円)	19,000円

※支援区分は**毎年10月**に見直されます。
採用時に決まった支援区分が**卒業まで同じとは限りません**

(カッコ内は生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している方及び、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学し、「自宅通学」扱いの方)

【給付奨学金：授業料等減免額】

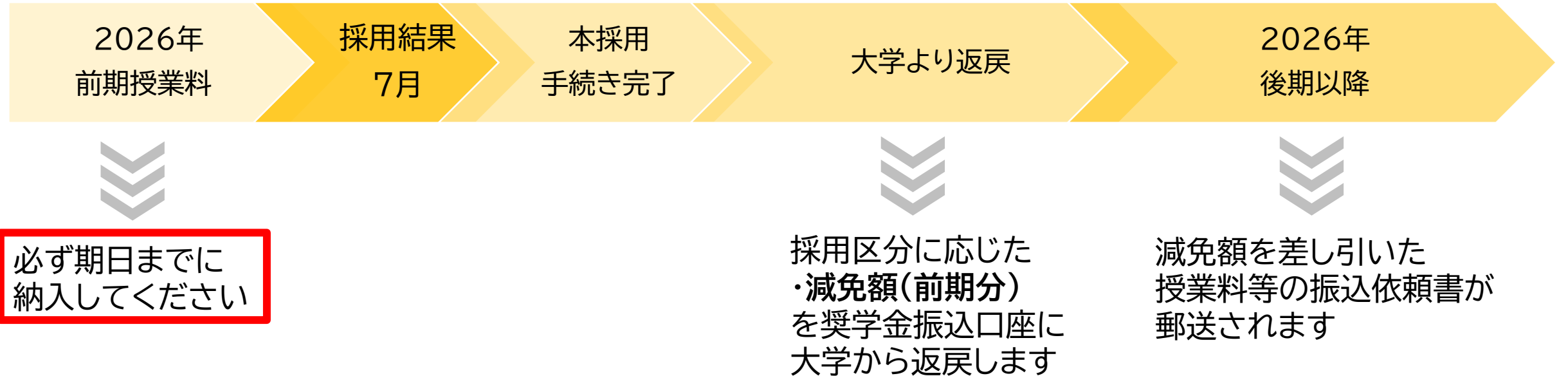
学校種・世帯の所得金額に基づく区分		私 立		
		入学金	授業料	
大学	第Ⅰ区分	260,000円 (140,000円)	700,000円 (360,000円)	
	第Ⅱ区分	173,400円 (93,400円)	466,700円 (240,000円)	
	第Ⅲ区分	86,700円 (46,700円)	233,400円 (120,000円)	
	第Ⅳ区分	理工農系	86,700円 (46,700円)	233,400円 (120,000円)
	多子世帯		260,000円 (140,000円)	700,000円 (360,000円)



★第Ⅱ区分・第Ⅲ区分の多子世帯の方は、「区分なし多子世帯」と同じ減免額となります

【給付奨学金：授業料等減免いつから？】(採用になった場合)

★採用決定と同時に『区分』が確定します

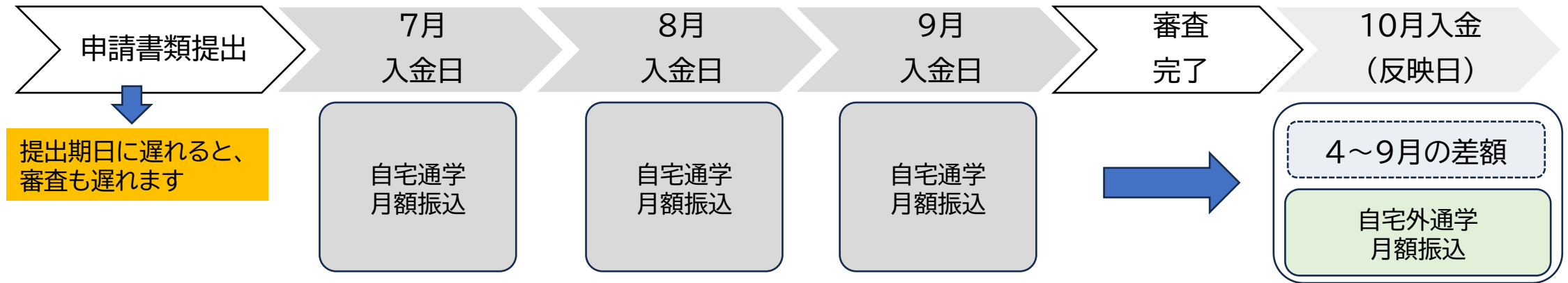


※本採用の手続き完了後の返戻となります。

2026年前期授業料は**必ず期日までに**納入してください

【給付奨学金：自宅外通学の方】(採用になった場合)

〔不備なく期日までに提出した場合の入金イメージ〕



- ・「通学形態変更届」と「賃貸借契約書のコピー」等の必要書類の提出が必要です
- ・日本学生支援機構の審査が完了するまでは、「自宅通学」の月額が振り込まれます
- ・審査が完了後、4月からさかのぼった「自宅通学」と「自宅外通学」の月額の差額がまとめて振り込まれます



提出期限が過ぎた場合や、入居日が2026年5月以降の場合は、4月からさかのぼることができません

【学業基準】

A

累積GPAが
上位1/2の範囲に
属すること

B

修得卒業要件単位数が標準単位数以上
かつ、将来、社会で自立し、
活躍する目標をもって
学修する意欲を有していることが学修
計画書等により確認できること

※A・Bどちらかの要件を満たしていることが、出願資格です

※配布資料の『2026年度春期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

【給付奨学金：学業基準（編入学生）】

大阪産業大学へ編入学をしたうえで、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが**学修計画書**等により確認できることが出願資格です

第一種奨学金

【貸与月額】

月々奨学金が振り込まれ、卒業後に返還が必要です(利子なし)

区分 月額 の種類	大学	
	私立	
	自宅	自宅外
最高月額	54,000円	64,000円
最高月額 以外の月額	40,000円	50,000円
	30,000円	40,000円
	20,000円	30,000円

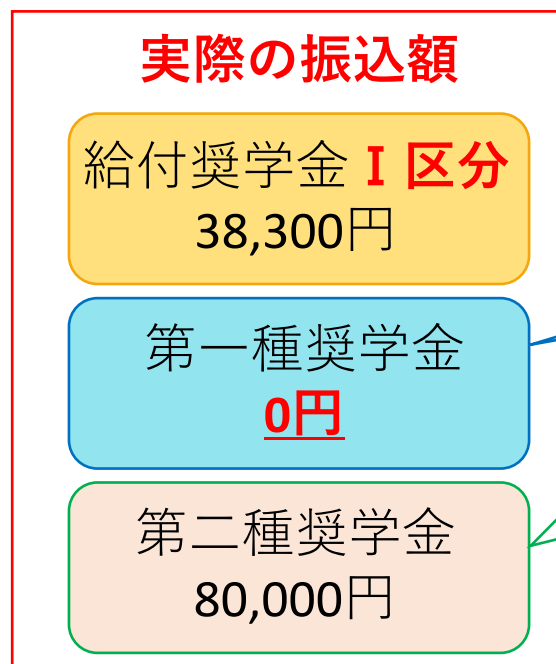
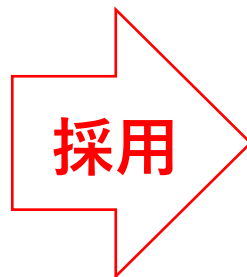
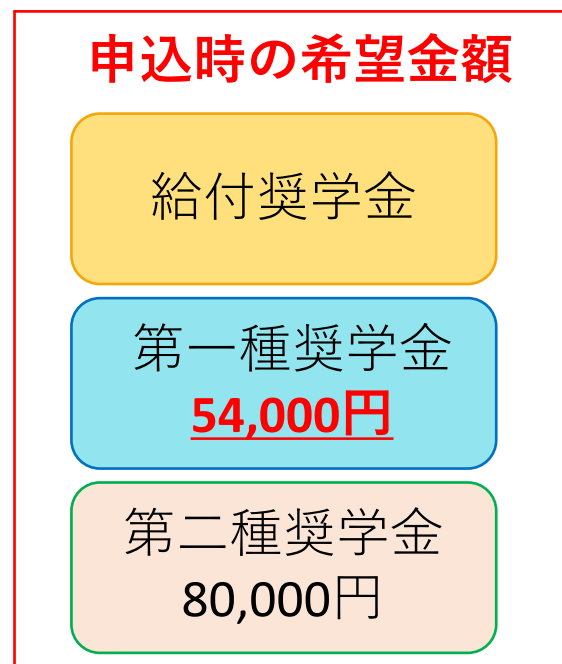
※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。

【併給調整】

『**給付奨学金**』と『**第一種奨学金**』を同時に受ける場合
給付の支援区分によって第一種奨学金の金額が決まります。

給付奨学金を受けている間は、自動的に一種の金額は調整されます

例)給付奨学金が第Ⅰ区分で採用された場合



給付が**Ⅰ区分**で採用
となったので
併給調整の結果
第一種は0円

第二種は給付の影響を受け
ないので、申込時の金額が振
り込まれます。
区分が心配な方は申請を
推奨します。

【第一種奨学金：学業基準】

算出方法は
「募集要項」で
確認してください

平均点80点以上

+

【2年生】24単位以上

【3年生】50単位以上

【4年生】卒業見込み

【編入学生】入学をもって不問

※父母ともに住民税所得割額が0円の世帯、生活保護受給世帯等は
給付奨学金の学業基準に基づき(提出物あり)、
緩和される可能性があります(該当者はお問い合わせください)

※配布資料の『2026年度春期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

【返還方式】

第一種奨学金を申込み方は、『返還方式(返していく方法)』を申込時に決める必要があります

【モデルケース(大学のみ)】返還方式による返還例の比較

前年度の収入に連動して返還額が変わる

所得連動返還方式

返す月額を毎年見直し

所得に応じた月額で返還

例 年収:300万円 → 月額:約 8,600円
年収:450万円 → 月額:約 15,400円

特長

所得があまり高くない時でも無理のない月額で返還できるので、将来のリスクに備えられます。

定額返還方式

返還完了まで返す月額が同じ

借りた総額に応じた月額で返還

例 5万円を4年間(240万円)借りた場合
→月額:約 13,333円(15年間)

特長

最後まで同じ月額で返還するので、返還の計画がたてやすくなります。

収入に関わらず毎月一定額を返還

※第二種奨学金の方は『定額返還方式』しか選べません

注意点

- ・『**所得連動返還方式**』は『**機関保証**』しか選べません
- ・採用後に変更希望の場合、変更できる期間や保証制度の変更が生じる場合があるので、早めに奨学金窓口までお問合せください

第二種奨学金

【貸与月額と利率の算定方法】

貸与月額

2万円～12万円までの間の1万円単位

で希望の金額を決めることができます

第二種奨学金は、『利率の算定方法』を申込時に決める必要があります

『利率の算定方法』とは
利率を計算する方法
のことです。

【利率固定方式】

貸与終了時に決定した利率が
返還完了まで適用されます

【利率見直し方式】

貸与終了時に決定した利率が
おおむね5年ごとに見直されます

★採用後、変更希望の方は、貸与終了までであれば変更可能です



【学業基準】

【2年生】24単位以上

【3年生】50単位以上

【4年生】卒業見込み

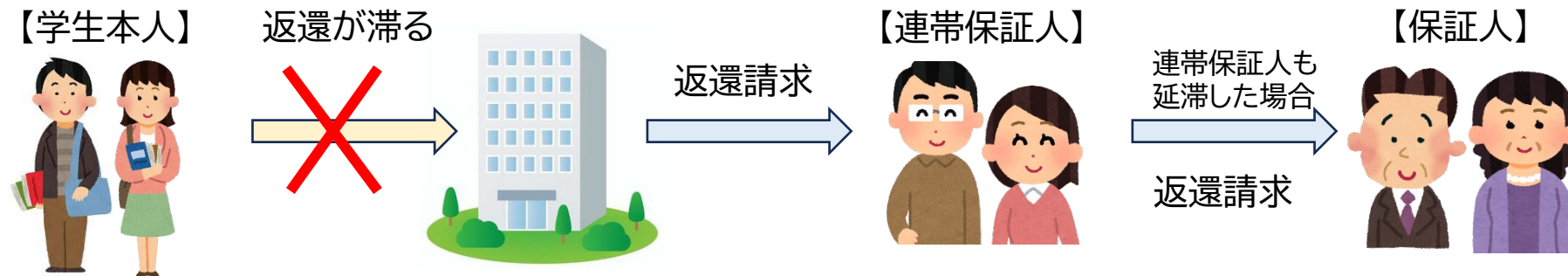
【編入学生】入学をもって不問

※配布資料の『2026年度春期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

保証制度

【人的保証とはどんな制度？】

奨学生が返還を延滞した場合に、**親(連帯保証人)**や**4親等内の親族(保証人)**が**代わりに返還義務**を負う制度です。
機関保証とは異なり、原則保証料は無料ですが、**返還が滞ると親族に最大で全額の返還責任**が及ぶ仕組みです。



※申込前に、「連帯保証人」「保証人」へしっかりと奨学金概要や必要書類について説明し
了承を得てから申し込んでください。

※採用後に断られた、必要書類を準備できない等の理由で、手続きが間に合わない場合は
採用取消となり、**全額一括返金**する必要があります

【人的保証 選出条件】

連帯保証人

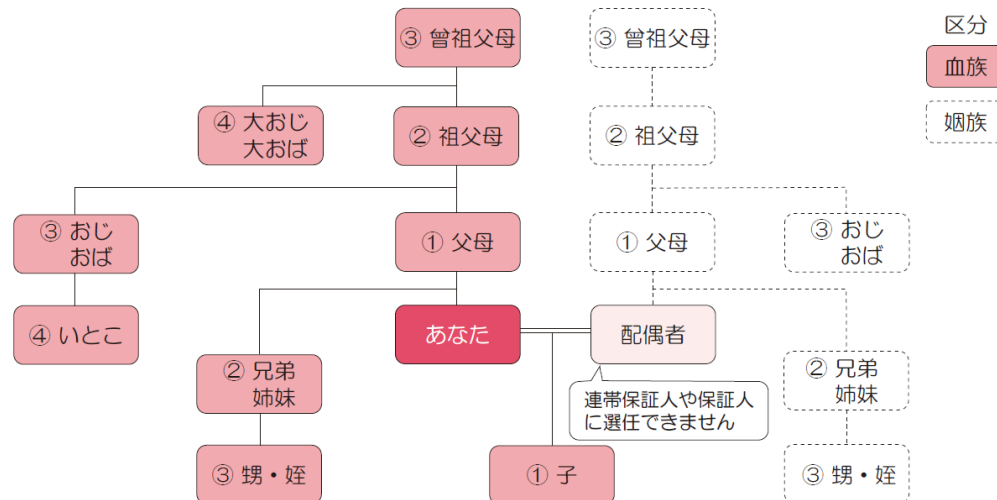
- 原則父または母

保証人

- 父または母以外
- 別生計の4親等以内の親族

【4親等以内の主な親族】

4親等以内の親族とは、「4親等以内の血族、配偶者、3親等以内の姻族」のことをいいます。ただし、配偶者は連帯保証人や保証人に選任できません。

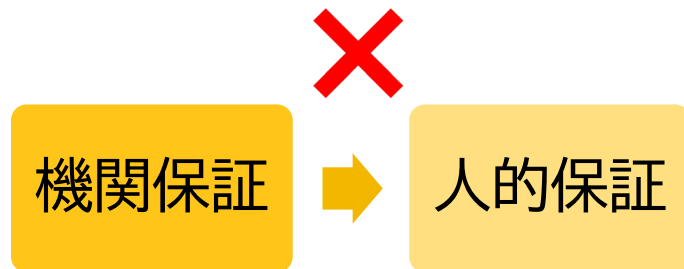


保証人の注意点

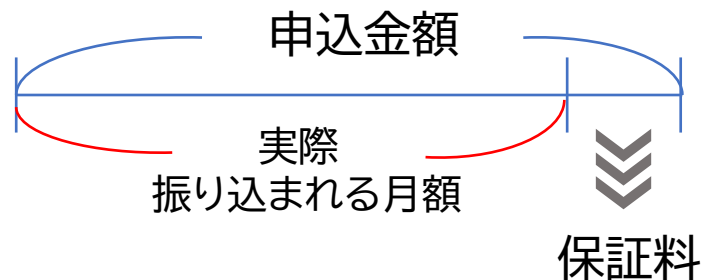
- 離婚した父母を『保証人』に選ぶことは可能
※ただし、「4親等以外」となります
- 「65歳以上の方」「4親等以外の方」を選ぶ場合は
特別な書類が必要です

【機関保証とはどんな制度？】

保証料を支払うことで保証機関が連帯保証人を代行する制度です。



『機関保証』から『人的保証』への変更はできません



月々の奨学金から保証料を支払うため、
振込まれる金額は申込金額より少なくなります

【家計基準についての確認方法】

進学資金シミュレーター

WEBから世帯の年収等を答えることで、
希望の奨学金を受けられるか詳細に知ることができます

「生徒・学生の方向け」
「保護者の方向け」があります
「保護者の方向け」で確認してください

- ・インターネットで「進学資金シミュレーター」と検索
- ・奨学金案内ダイジェスト



いずれかで確認できます

※「進学資金シミュレーター」はあくまでも目安です

※家計の審査は「日本学生支援機構」で行われるため、
詳細については、大学ではわかりません

本館1階 学生課 奨学金特設窓口

【窓口時間】平日:10:00~17:00 / 土曜:9:00~12:30

【電話番号】072-875-3070(直通) / 072-875-3069

メールアドレス:shogaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp



- ★窓口対応優先のため、電話はつながりにくい可能性があります
- ★大学公式WEBサイトのお問合せフォーム等をご利用いただくなど、ご協力をお願いします
- ★窓口時間外の受付は一切行いません

さいごに

- ▶ 日本学生支援機構の奨学金は、勉学に励む意欲を持った学生に、給付・貸与されます。採用となったとしても、**成績次第では給付奨学金・貸与奨学金ともに停止・廃止・全額返還**になります

- ▶ 採用後にも、さまざまな手続きが必要です
手続きが遅れると停止・廃止の原因となります

- ・充実した大学生活を送るためにも、ご卒業まで単位の取得には十分に気を付けて、ポータルシステムのお知らせ等を必ず確認し、滞りなく手続きを することを、心がけてください。